

# ちょうあみ みきお 長阿彌 幹生（プロフィール）

北九州市生まれ。同志社大学を卒業後、大手流通企業で主に商品開発、販売企画、新規プロジェクトなどを担当。1996年に、娘の不登校を考えるために「お父さん研究会」をつくる。1998年、家族の病気介護のために会社を退職。

2000年、“なかよし”な人間関係についての研究機関「教育文化研究所」を仲間と共に設立。不登校、離婚、リストラ、職場のストレスなど、人間関係から起こる様々な問題の改善について研究しています。教育文化研究所主催の研究会、講座、シンポジウムなどを年間120回以上開催して、多くの参加者と共に考え、“なかよし”な人間関係の実践的研究を行っています。

2001年11月、不登校当事者支援の5団体による「不登校サポートネット」を立ち上げて、福岡市での不登校支援活動を開始し、行政との協力事業も展開を進める。2003年9月には、「子どもの育つ地域社会づくり」を目的としたNPO法人「子どもNPOセンター福岡」を仲間と共に立ち上げて、子ども支援団体のネットワーク化や行政とNPOとの協働の推進を行っています。

2008年からは「幸福度世界一の国」デンマークとの交流事業を開始し、デンマークの教育や福祉などの講演会を開催したり、デンマーク研修ツアーやデンマーク研究会を定例開催して、日本の社会の高福祉化について考える輪を広げています。（★一般社団法人福岡デンマーク協会 顧問）

2012年4月からは福岡市共働提案事業として「不登校児童生徒の保護者支援のための共働事業（不登校よりそいネット）」を福岡市教育委員会と共にスタートさせて、福岡市における不登校の当事者支援体制の充実を目指しています。2016年に福岡県共助社会づくりで福岡県知事表彰を受けると、自治体やNPO団体からの問合せや視察が相次ぎ、この活動をモデルにした事業が各地でスタートしています。

2014年からは福岡県の障害者施設のネットワーク「特定非営利活動法人セルプセンター福岡」の副理事長として、障害者福祉の向上に取り組んでいます。その他、自治体との協働の中で、市民やNPO活動家としての立場から意見や提案を行い、官民の壁を超えて、住み良い地域づくりに取り組んでいます。

2018年からはひきこもり当事者支援として、社会福祉協議会や自治体、ひきこもり支援NPOからの依頼で講演会、懇話会などの講師やコーディネーターを担当しています。

## ■主な活動

1. 教育文化研究所 代表(平成12年～継続)  
家庭・職場・地域の“なかよし”な人間関係を実践的な研究活動や講演活動
2. 不登校サポートネット 代表(平成13年～継続)
3. 「不登校よりそいネット(福岡市共働提案事業)」 実行委員長(平成24年～継続)
4. ちくしの不登校支援ネット 理事長(平成28年度～継続)
5. (一社)福岡・デンマーク協会 理事長 (平成22年～継続)
6. (特)セルプセンター福岡 副理事長(平成28年度～継続)
7. (特)子どもNPOセンター福岡 副理事長・専務理事・理事などを歴任(平成15年～平成31年)
8. 福岡県社会福祉協議会授産事業活性化委員会委員(平成14年度～平成16年度)
9. 福岡市不登校ひきこもり対策協議会委員(平成20年度)
10. 福岡市社会教育委員会 副委員長・委員などを歴任 (平成20年度～平成32年)
11. 福岡市経済観光文化局委託ソーシャルビジネスアドバイザー(平成17年度～平成25年度)
12. 福岡県青少年問題協議会専門委員(平成24年度)
13. うきは市不登校・ひきこもり対策相談支援協議会委員(平成27年度～)
14. 福岡県ひきこもり地域支援対策連携調整会議委員 (令和2年度～)
15. 北九州市学びの多様化学校検討会議委員(令和7年度～)
16. エッセイスト:親子や夫婦など人間関係や自然についてのエッセイを執筆

■連載エッセイ:★西日本新聞「ちょっと深呼吸」(平成16年8月～平成17年6月連載)、その他

■著書:「長阿彌幹生のなかよし読本」、「長阿彌幹生のデンマーク読本」

■著書:「不登校センター養成講座」(出版:びーんずネット)

■編書:「ふくおか不登校読本」「こども未来読本」「ふくおか子ども白書2025」

